



平成 27 年

成人式

1月11日、えずこホールで平成27年成人式が挙行されました。この式典では、新成人が大人としての一步を踏み出し、これからの社会を築き背負っていく節目の日であることを出席者全員で確認します。その決意を、代表のかた2人が「二十歳に思う」として発表しました。



この縁を大切に



畑中翔平さん
(西原区)

本日は、私たちのために、このような盛大な式典を催していただきまして誠にありがとうございます。

大河原中学校元生徒会長の畑中翔平です。スカートとスピーチは短く、なんて言いますが今日、成人式を迎えて、ついに私たちも大人の仲間入りを果たしました。

時間が過ぎるのはとても早いもので、二分の一成人式が行われたのもついさっきのことのように感じるほどです。私自身も誕生日を迎え二十歳になったのですが、大人

になった実感が全くありません。小中学生の頃は、二十歳になれば、もっと落ち着いてしつかりとした、大人の余裕があるかっこいい男になってモテモテになるんだろかなと妄想していましたが、いざなってみると、やっていること知能レベルは小学生のままで、体つきだけが大人へと成長し、まさに体は大人、頭脳は子どもの逆名探偵コナンくんになってしまいました。

式典なのにこんななふざけたことばかり言っているのか恐れ多いですが、話は変わりました、私は、高校は岩手で寮生活、大学は石巻で一人暮らしをしています。

ここ、地元大河原、そして親元を離れて初めて、友達、そして親のありがたみを知りました。普段は恥ずかしいので言いたくないのですが、この場を借りて言いたいと思います。おとん、おかん、いつもありがとうございます。みんな、久し

ぶり。会えて嬉しいです。俺やで。私が今こうして成人式を迎えることができたのも親や友達、地域のかたがたの色々な支えがあるからこそだと思います。本当に感謝しています。

世界には今、70億人の人口であふれています。それは毎秒違う人に出会っても一生のうちその全員と会うことは不可能なようです。そしてそんななかで皆さんに出会ったのも何かの縁です。大げさかもしれませんが、私はこの縁に感謝し、これからも大切にしていこうと思います。

私たちは今、二十歳という節目を迎えて一般的には大人です。しかし、社会人としてはまだまだ未熟です。既に社会に出て働いている人、学生として勉強中の人、子どもが生まれ親の立場になった人とさまざまです。今の日本社会は不景気で、とても厳しい



今年のお席者は、町外からの参加も含めて208人(男性107/女性101)。久しぶりの再会で会場ホワイエはとてにぎやかでしたが、式典が始まるときちんと気持ちを切り替えるところは、さすが新成人と思われました。

家族の支えに感謝



鈴木瞳さん
(金ヶ瀬5区出身)

環境ですが、大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として常に前向きに頑張っていくことをここに誓います。どうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

冒頭で言いましたスカートとスピーチは短く、という目標よりは少し長くなりましたが、以上で新成人代表あいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。私どもものなかには社会に出て働いている者もおりますし、学業を継続中の者もおります。しかし、置かれた状況の違いはあれ、今日から社会人一年生として、皆さまがたのお仲間入りさせていただくことになりました。

皆さまからいただいた意義深い教訓を胸に刻み、責任感を強く持ち、大人社会の一員としてベストをつくす所存であります。

私は、高校卒業後接客業に就き、日々人とかかわる仕事をしています。仕事にも慣れ人間関係を上手く作れるようになりましたが、社会に出て最初の悩みは、やはり人間関係でした。人と接することが好きな私でした

が「本当にこの仕事は自分に合っているのだろうか」と悩み始めました。この時一番相談に乗ってくれたのは家族でした。親元を離れて初めて親の有り難みを知った瞬間でした。

これから先、地元に残る者、外に出ていく者それぞれだと思いますが、自分を一番支えてくれる温かく見守ってくれるのは家族であるということに心に残っています。

私たちは、まだまだ未熟な人間です。自問自答し、道が開けない時、立ち止まってしまうこともあるかと思えます。そのような時には、今までと変わらぬ皆さまの温かいご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

誠に簡単ではございますが、新成人を代表いたしまして御礼のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

